

授業改善推進プラン

【教科名：国語】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に取り組んでいる。全体で考えたり発言したり質問したり活発に授業を行うことができる。 標準学力調査（NRT）では、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国平均を下回っている。特に、「書くこと」についての平均が大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを表現したり、他者の考えを汲んで解決したりしていく力の向上。 目的や文章の構成など、書く力読み取る力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動などで意見を交流する機会を増やす。 個人で考える時間を十分に確保し、書いたり発言したりする時間を充実させる。 単元の最後に意見文など自分の考えを目的に沿って書く活動を取り入れる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 前向きに課題や意見交流、各活動に取り組む生徒たちである。 標準学力調査（NRT）では、語句や表現技法、漢字、文法、古典的な文章など、特に「知識・技能」の結果が全国平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字等の語彙力の向上。 「知識・技能」に加え、文学的文章や古典的文章を読み取る力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して漢字テストや語句テストを行っていく。 文法に関しては、定着度テストを行い、つまずきに早い段階で気付かせ、理解できるまで復習させる。 文章を読む單元の中で読者としての意見や考えではなく、多面的・多角的に考える活動を充実させる。 個で考えたことに対して全体で意見を交流する機会を増やす。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に課題に取り組む生徒が増えた。学力に二極化が顕著である。 標準学力調査（NRT）では、全項目で全国平均を下回っている。特に、「文学的文章を読むこと」などの、「読むこと」についての平均が大きく下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「知識・技能」の定着に加え、文学的文章等における思考力、表現力の向上。 グループ活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の終わりや、既習事項の復習定着度テストを行うことで、自らの学習を考える時間を設ける。 文章を読む單元において、作者の主張や登場人物の心情に対しての自らの考えをもつ時間や表現する時間を十分に取る。 個で考える時間を十分確保することと、少人数で話し合う課題を設定する。

【教科名：社会】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 到達度テストでは全国平均を上回り、小学校での学習がある程度習得できている。 家庭学習ノートを見ると1年生ながら自分なりの学習 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文が理解できていない生徒がいるなど、ベースとなる国語力、言葉の力不足の解消。 わかっているつもり、できているつもりでいるが、実 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書全文読みや、穴埋めノートなどを活用し、漢字、言葉の力を育成する。 毎回の授業での復習小テストを継続し、家庭学習の習慣化と基礎知識向上を図る。

	<p>方法を考えて取り組んでいる生徒が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業では誤答を恐れず、積極的に発言できる。 	<p>際には身に付いていないケースが多いため、その差を埋めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 班での意見交換など学び合う場を設けることで自分の考えを客観的に分析する姿勢を身につけさせていく。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 到達度テストでは地理は平均を上回り、歴史は大きく下回る。特に思考判断力が不足している。 知識の暗記は努力して習得できるが、その知識を活用することができていない。 授業態度は真面目で、誤答を恐れず、積極的に発言することもできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の語句などは漢字から意味を推測することができないなど語句理解に苦勞している生徒が多いため、ベースとなる国語力、漢字力の向上が課題。 知識がぶつ切りになっているため、歴史を流れでとらえるなど、点から線への発展による知識の活用、思考判断力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書全文読みや、穴埋めノートなどを活用し、漢字、言葉の力を育成する。 真面目で向上心があるので、発問を工夫し、粘り強く思考する機会を多く設定する。 班での意見交換などから、自分の考えを表現し、他者の考えを聴くことで多様な発想や思考方法を学び合う場をより多く設ける。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 到達度テストでは、半数以上の生徒が5段階評価で2以下であり学力差が大きい。 ノートを書く、発問の回答に取り組むなど授業態度が徐々に身に付いてきたが、集中力が続かない生徒もまだいる。 自分で考え、自分の言葉で表現できる生徒が少しずつ増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> やっとな漢字で書ける生徒が増えてきたが、学力差が大きいいため、基礎と発展のバランスをうまくとりながらの授業構成が課題。 観点別に見ると知識に比べて思考、技能が低い生徒が多く、身に付けた知識を活用する思考力や、資料活用の技能の向上を図ることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業での復習小テストを継続し、家庭学習の習慣化と基礎知識向上を図るとともに、授業では発展的な発問を交えながら基礎と発展の両立を図っていく。 自分で考え表現することを通して知識を活用し、他者の考えを聴くことで多様な発想や思考方法を学び合う場をより多く設ける。

【教科名：数学】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に積極的に授業に取り組んでいる。 標準学力検査では、内容別に見ると全項目で全国平均を少し上回っている。観点別に見ると、「知識・技能」は全国平均を上回っているが、「思考・判断・表現」は下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本のさらなる定着を図る。 「思考力・判断力・表現力」を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストを中心に、各種テストを通して、基礎・基本の定着度を把握する。 放課後の補習教室を定期的実施する。 コロナ禍ではあるが、できる限り授業中の学び合いを充実させ、考える力を身に付ける。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力検査では、3学期に扱った単元の結果は全国平均と変わらないが、1・2学期に扱った内容は全国平均を下回っている。 積極的に授業に臨み、主体的に考えようとしている。一方で、意見交流や質問をしづらい雰囲気もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能の定着。 コロナ禍における学び合いと、助け合う雰囲気の醸成。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストや定期考査を通して、基礎・基本の定着度を把握する。 学力を定着させるために、家庭学習を更に促す。 学び合い学習を充実させ、助け合うことで理解を深めさせる。

3年	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力検査、全国学力調査共に、すべての観点で全国平均を下回っている。 学力の二極化が顕著である。 定期考査の得点に関しては、徐々にではあるが改善傾向である。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎、基本が定着していない生徒が多く、演習問題などに自力で取り組むことの難しい生徒が多い。 個別支援の必要な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本となる事柄を折に触れて復習し、知識・技能の定着を図っていく。 単元ごとに復習確認テストを実施し、生徒のつまづきを把握する。 技能面で不安を抱く生徒を対象に、放課後の未来塾などを利用して補習を行う
----	---	---	--

【教科名：理科】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	①標準学力検査（NRT） <ul style="list-style-type: none"> 知識・技能は平均以下。 思考・判断・表現は平均以上。 ②授業評価アンケート <ul style="list-style-type: none"> 少人数で意見を交流する時間が不十分。 グループで意見が深まる経験が少ない。 ③定期考査 <ul style="list-style-type: none"> 二極化が顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な知識・技能の向上。 意見を交流する機会や、考える時間の十分な確保。 話し合い活動の更なる充実。 学力の底上げが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに演習の時間を確保し、知識の定着を目指す。 考える時間をとるだけでなく、はやく終わった生徒への課題も準備する。 話し合い方について助言したり、振り返り活動を活用したりして内容を充実させる。 必要に応じて補習を実施。
2年	①標準学力検査（NRT） <ul style="list-style-type: none"> 思考表現・技能は平均以下。 知識・理解は平均。 ②授業評価アンケート <ul style="list-style-type: none"> 少人数で意見を交流する機会や、個人で考える時間が不十分。 質問しづらい雰囲気がある。 ③定期考査 <ul style="list-style-type: none"> 中間層は多いが、上位層が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察実験の技能の向上。 科学的な思考力の育成。 意見を交流する機会や、考える時間の十分な確保。 友達同士で質問しやすい雰囲気づくり。 発展的な課題や、事象に関して表面的ではなく、より深い理解が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に技能テストを行い、技能の定着を目指す。 グループで課題を解決できるような声掛けを行う。 考える時間の確保。 振り返り活動などのコメントを通して、良い関係を築く。 結論を生徒に説明させ、更なる理解を目指す。
3年	①標準学力検査（NRT） <ul style="list-style-type: none"> 全ての観点で全国平均以下。 ②授業評価アンケート <ul style="list-style-type: none"> 寝ている生徒への指導が不十分。 少人数で意見を交流する体験と、授業内容が深まる経験が減少している。 主体的に取り組む態度が低い。 ③定期考査 <ul style="list-style-type: none"> 二極化が顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識技能の定着が必要。 思考力・表現力の更なる向上と表現活動の充実。 授業規律の徹底。 グループ活動の充実。 発展的な学習課題の設定。 学力の底上げが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 演習を行う時間を確保し、基本的な知識技能の定着を図る。 寝ている生徒に声をかけ、記入など丁寧に指導していく。 目標を自分で考え、目的意識を持てるようにする。 話し合いで役割分担を行い、全員が参加できるような課題設定により技能を高める。 必要に応じて補習を実施。

【教科名：音楽】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<p>①授業の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の各分野に興味関心があり、意欲的に活動できる。 <p>②授業評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数で意見を交流する時間が不十分で意見が深まる経験が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心を基盤とした、知識の定着。技能の向上。 ・グループ活動を充実させるための課題設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの充実で知識の定着を図る。より高い課題を設定して技能を高める。 ・授業内容に話し合い活動を取り入れていく。
2年	<p>①授業の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の各分野に興味関心が高く、意欲的に活動できる。 ・グループ活動で協力したり教え合ったりできる。 ・内容理解の定着に課題。 <p>②授業評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロームブック活用に関して評価が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容理解度の把握。 ・定着を図るための振り返りの充実。 ・クロームブックの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が良くても、改めて内容を復唱させたり、前時の復習を導入時に行い、理解の定着を図る。 ・クロームブックを効果的に活用できるように、授業づくりを行う。
3年	<p>①授業の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次より課題に集中して取り組める生徒が増えた。 ・取り組み姿勢に個人差がある。 ・提出物、持ち物管理ができない生徒が多い。 ・粘り強く課題に取り組むことが課題。 <p>②授業評価アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数で意見を交流する時間が不十分で意見が深まる経験が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の現状や個の能力に応じた課題の設定。 ・グループ活動を充実させるための課題設定。 ・生徒へのサポート強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の共通課題に合わせて個に応じた課題の設定を行い、選択して取り組めるようにする。 ・授業内容にグループ活動を取り入れ、互いに学び合ったり教え合う関係を作り、クラス全体で授業に臨めるようにしていく。 ・必要に応じて補習を行ったり、個別の声かけを増やす。

【教科名：美術】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して積極的に取り組むことができる。 ・感じたことや考えたことなどを言葉や文章で素直に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識がある題材や素材に対して消極的になってしまふ。 ・絵の具を使った作品に対しての苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の時間を増やし、お互いにアドバイスや意見を共有させる。 ・表現の具体的な良さを自覚させ、自己肯定感を高める。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心が強く、積極的に学習に取り組むことができる。 ・お互いに教え合ったり、アドバイスをし合ったりする姿が頻繁に見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの発想にこだわりが強く、発想を深めたり広げたりするまでに時間がかかる。 ・細部までこだわって制作できるため、時間内に完成できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の時間を増やし、他者の意見を取り入れることができる機会を設ける。 ・1時間ごとのゴールを明確に設定し、見通しをもたせやすくする。

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を活性化させる発言が多い。 ・生徒同士で教え合ったり、声を掛け合ったりする。 ・作品制作の過程で、意図に応じた工夫を柔軟に取り入れ実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本制作に取り組むまで時間がかかる。 ・鑑賞で感じたことを文章で表現する力の向上。 ・主体的に取り組める時とそうでない時など、取り組み姿勢にムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Chromebook を活用し、アイデアスケッチやプリント記入の時間を短縮する。 ・扱う素材や制作環境で、生徒が楽しみながら学べるようにする。 ・些細な成功も見逃さず、取り組もうとしたことを認め、自己肯定感を高める。
----	---	--	---

【教科名：保健体育】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に興味・関心が強く積極的に活動できる。 ・男女仲が良く、全員でアドバイスしながら活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的で成果に繋がる取り組みを行うこと。 ・粘り強く取り組むようお互いのアドバイスを行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習を主として行い、相互にアドバイスできるようにする。 ・課題を明確にできるようタブレットやカードを活用する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に興味・関心が強く積極的に活動できる。 ・男女仲が良く、全員でアドバイスしながら活動できる。 ・ストレッチの習慣が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的で成果に繋がる取り組みを行うこと。 ・粘り強く取り組むようお互いのアドバイスを行うこと。 ・日常的にストレッチをすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習を主として行い、相互にアドバイスできるようにする。 ・課題を明確にできるようタブレットやカードを活用する。 ・ストレッチを増やし、かつ、家庭での習慣化を促す。 ・自己反省とともにグループ学習を継続する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心が強く積極的に活動できるが、二極化している。 ・体力は向上傾向にあるが、さらなる向上が期待できる。 ・ストレッチの習慣が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備や片付け、取り組みがより主体的にできるようにし、できる感覚を味わうこと。 ・日常生活の中から、体力をつける習慣を身に付けること。 ・ストレッチ方法を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を主として行い、支援が必要な生徒に対して集中的に指導を行う。 ・日常生活で簡単にできる体力アップの方法を指導する。 ・効果的なストレッチ方法を説明する。 ・自己反省とともにグループ学習を継続する。

【教科名：技術】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・よく話を聞き、発言も積極的である。 ・周囲へ助けを求められない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能の底上げ。 ・協同活動の意識付け。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で復習や振り返りの時間を取り、知識の定着を図る。 ・ペアやグループをつくったり、意見交換の場を設けたりする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的で活発な生徒が多い。 ・理解度にばらつきがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協同活動の意識付け。 ・振り返りの充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループ単位での学習・作業の機会を増やしていく。 ・振り返りを次の授業でフィードバックするなど、つながり

			をもたせる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲へ助けを求められない生徒がいる。 ・手を動かすことについては意欲的に取り組む傾向が強いが、計画や見通しを立てることを苦手とする生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の充実。 ・計画と振り返りの充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループでの活動場面を設定する。 ・単元の流れや計画、内容振り返りの時間を設定し、落ち着いた状態で取り組ませる。

【教科名：家庭科】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に意欲的に取り組むことができる。 ・考えのまとめや、知識技能の活用が苦手な部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識や技能を活用する場面を設定し、スモールステップで進めていく。 ・課題解決学習を生徒に意識させ、知識・技能を活用しようとする姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を通して、多角的に思考できるような場面設定を行う。 ・振り返りカードを通して、見通しやできるようになったことを明確化する。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組む生徒が多く、反応が良い。 ・グループ活動に積極的に取り組むことができるが、理解が不十分なまま、作業や活動に入ってしまう生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識を定着させる。 ・見通しをもち、取り組めるようにする。 ・互いに学び合えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に復習テストを実施し、知識の定着を図る。 ・めあてとまとめを意識させ、授業や題材の流れの見通しをもち、取り組むことができるようにする。 ・分からない部分を教えあえる雰囲気づくりに努める。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・反応が良く、活動に積極的に取り組む生徒が多いが、集中力が続かない生徒もいる。 ・基礎的な知識・技能の定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して取り組めるよう、見通しをもたせたり、展開を工夫したりする。 ・基礎的・基本的な知識を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでの話し合い活動を充実させ、学び合える環境を作る。 ・振り返りカードを通して、授業や活動の見通しをもてるようにする。 ・前時の復習や、定期的な復習テストを行う。

【教科名：英語】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着に向けた音読など反復練習に対して前向きに取り組むことができる。 ・先生には遠慮なく質問できる反面、友達と協働して課題を解決しようとする場面が少ない。 ・小学校から「教科」として取 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識をもてずに取り組むと単調な活動になってしまう。 ・積極的に発言できる生徒の声と、なかなか自分の考えを言えない生徒の考えの両方を活かすこと。 ・「書くこと」になると一気に苦手な生徒が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に達成目標を設定するなどして、より主体的に取り組めるようにする。また、変容が見とれるような振り返りシートを活用し、反復練習に対する動機づけを行う。 ・ジャンプの課題を取り入れ、考える時間を増やす。意見を引き出し、繋いで共同的に学

	<p>り組んできた成果として、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」に対する取り組みは苦手意をもたずに取り組んでいる。</p>		<p>習できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 書く機会を増やす。単語テストを行い書くことに対する意識づけを行う。
2年	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の取り組み、予習復習などを含めた家庭学習も前向きに行っている。 • NRTの結果では「書くこと」の領域で全国比に比べ下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 積極的な発言、友達との協働学習など、授業はどのような形態でも活発に行うことができるが、知識がなかなか定着しない。 • 知識・技能を活用して、話したり書いたりできるようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> • 単元ごと、内容ごとの見通しを教師も生徒もこれまで以上にしっかりもつ。振り返りをすることが自分のためになると感じられるように授業1時間ごとから単元ごと、またはラウンドごとなど様々な角度から学習を振り返る機会を設ける。 • 授業の帯活動で話すこと、書くことに充てる時間を増やし、何度も繰り返し練習する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> • 授業アンケートより、「わからないときに質問しやすい」という項目において、評価が低い。 • 授業アンケートの中で授業の中で、「考える時間」や「考えの深まり」に関する評価が低い。 • NRTの結果では「聞くことが」全国に比べて正答率が比較的近いものの、全領域において、下回っている現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> • 真面目に授業に取り組んでいるが、積極的に発言する生徒が決まりがちで、全員で取り組むことができていない。 • 基礎・基本に重点をおいた授業が多い。 • 学力差が大きいので、個別の指導が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一部の声だけで授業を進めないようにする。振り返りシートから疑問点や意見を見取り、授業改善を行う。 • ジャンプの課題を取り入れ、考えることを促し、深められるようにする。 • 習熟度別少人数授業を活かし、基礎・発展の生徒の取り組みや定着度に応じて、柔軟に対応する。 • 単語テストや単元テストを行い自らの学習の定着を確認し、後の学習に活かせるようにする。